



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場会社名 アートsparkホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3663 URL <http://www.artspark.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 慎也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 伊藤 賢 (TEL) 03-6820-9590
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	3,046	△2.7	487	—	457	—	382	—
27年12月期第3四半期	3,131	33.7	△0	—	△23	—	△40	—

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 385百万円(—%) 27年12月期第3四半期 △38百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	56.46	54.67
27年12月期第3四半期	△6.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	3,726	2,847	75.8
27年12月期	3,602	2,439	66.4

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 2,824百万円 27年12月期 2,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,730	△10.3	320	261.6	305	390.1	267	667.4	39.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年12月期3Q	6,778,320株	27年12月期	6,709,945株
28年12月期3Q	2,985株	27年12月期	2,635株
28年12月期3Q	6,766,941株	27年12月期3Q	6,658,032株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年1月1日～平成28年9月30日）におけるわが国経済は、政府の経済政策の効果もあり企業収益や雇用情勢の改善等がみられましたが、設備投資や個人消費は弱含みの動きとなり、海外ではアメリカ経済は景気回復が続いている一方、新興国等における景気減速の懸念に加え、英国のEU離脱による急激な円高・株安が進行する等、先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループは、デジタルによるコンテンツの創作からの利用・活用に至るまでの諸活動を、トータルに支援できる環境の提供を経営理念に掲げ、事業を推進しております。

当連結会計年度におきましては、クリエイターサポート事業及びUI/UX事業を中心に注力し、販売・営業活動の推進や提供サービスの拡充を図りながら、引き続き経営体質強化に努めてまいりました。また、当社子会社株式会社エイチアイによる株式会社エイチアイ関西の株式譲渡等、財務等における経営資源の集中と配分を重視し、経営効率向上に努めております。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は3,046,535千円（前年同期比2.7%減）、営業損益は487,279千円の営業利益（前年同期は463千円の営業損失）となりました。

経常損益につきましては、支払利息4,598千円、為替差損23,402千円を計上したこと等により457,193千円の経常利益（前年同期は23,650千円の経常損失）となりました。純損益につきましては、株式会社エイチアイ関西の株式譲渡にともなう子会社株式売却損6,495千円、投資有価証券評価損6,766千円を計上したこと等により382,061千円の親会社株主に帰属する四半期純利益（前年同期は40,239千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

<クリエイターサポート事業>

当第3四半期連結累計期間では、マンガ・イラスト・アニメ制作ソフトウェア「CLIP STUDIO PAINT」が、KADOKAWA Contents Academyタイ校にて、専門学校HAL東京・HAL大阪・HAL名古屋においても同シリーズが教材として採用され、導入実績を上げております。また、7月には、「CLIP STUDIO PAINT」の全世界における累計出荷本数が200万本を超えました。

なお、インターネットを通じてクリエイターの創作活動をトータルに支援するサイト「CLIP」においては、平成28年9月末時点の登録者数は69万人となっております。

以上の結果、売上高は839,278千円（前年同期比16.0%増）、営業利益は133,356千円（前年同期比24.5%増）となりました。

<コンテンツソリューション事業>

コンテンツソリューション事業の中心である携帯電話市場におきましては、平成28年6月末で国内携帯電話加入契約数が1億5,758万台（前年比4.0%増）となっております。（社団法人電気通信事業者協会発表「携帯電話・PHS契約数」より）

このような経営環境の中、iPhone/iPad向け最新OSのiOS10に対応する等、新たに登場するデバイス機器や新OS向けの開発に積極的に取り組んでおります。

以上の結果、総合電子書籍ビューア「BS Reader」を軸として推進するコンテンツソリューション事業の売上高は780,151千円（前年同期比9.5%減）、営業利益は39,128千円（前年同期比217.4%増）となりました。

<UI/UX事業>

当第3四半期連結累計期間では、The Linux FoundationのプロジェクトAutomotive Grade Linux (AGL) の加盟メンバーに対し、HMIの基盤であるUIオーサリングツール「exbeans UI Conductor (エクスビーンズユーアイコンダクター)」の開発評価のための試使用ライセンスの提供を開始いたしました。今後の商用化向けの評価の実施と同時に、AGL上で使用できるGUIフレームワークとして利用いただけるようになりました。

また、キャッツ株式会社が開催する「ZIPCユーザーズカンファレンス」に出展、「exbeans UI Conductor」と同社の「ZIPC Designer」が開発ボード上で連携し、ツール上で状態遷移をシミュレートしながらHMI開発を行うことができる開発環境を提案いたしました。この他、カナダ大使館にて開催された「QNX/BlackBerry Technology Solutions Forum」に出展し、QNX Neutrino RTOS上に「exbeans UI Conductor」を用いて作成したメータークラスター及びランタイムソフトウェアを移植し、リアルなメーター、警告灯・表示灯の動作に関するデモを行いました。

以上の結果、売上高は1,444,155千円（前年同期比7.6%減）、営業損益は296,006千円の営業利益（前年同期は152,673千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて123,435千円増加し3,726,357千円となりました。この主な要因は、売掛金が201,405千円、ソフトウェアが158,466千円、投資有価証券が45,187千円減少した一方で、現金及び預金が660,963千円増加したこと等によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて284,250千円減少し878,865千円となりました。この主な要因は、未払法人税等が21,601千円増加した一方で買掛金が82,499千円、短期借入金が34,973千円、1年内返済予定の長期借入金が55,102千円、長期借入金が40,505千円減少したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて407,686千円増加し2,847,492千円となりました。この主な要因は、資本金が31,674千円、資本剰余金が31,674千円、利益剰余金が368,646千円増加したこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、75.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績は、損益面について通期業績予想を上回ることとなりましたが、売上の前倒しの計上であること、当社グループの事業の特性として四半期毎の業績に変動があることを踏まえ、平成28年2月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、今後経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

特定子会社の異動はありませんが、当第3四半期連結会計期間において、株式会社エイチアイが所有する株式会社エイチアイ関西の全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号平成28年6月17日)を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,323,640	1,984,604
売掛金	490,332	288,926
製品	3,809	3,678
仕掛品	80,054	34,193
原材料及び貯蔵品	24,714	24,340
その他	169,218	129,072
貸倒引当金	△6,224	△2,737
流動資産合計	2,085,545	2,462,078
固定資産		
有形固定資産		
建物	65,181	67,024
減価償却累計額	△38,966	△41,739
建物(純額)	26,214	25,284
工具、器具及び備品	209,170	203,495
減価償却累計額	△182,527	△180,010
工具、器具及び備品(純額)	26,642	23,485
有形固定資産合計	52,857	48,770
無形固定資産		
ソフトウェア	899,468	741,001
ソフトウェア仮勘定	277,192	250,834
その他	32,414	32,284
無形固定資産合計	1,209,075	1,024,120
投資その他の資産		
投資有価証券	103,449	58,261
敷金及び保証金	112,536	111,386
その他	36,413	20,523
投資その他の資産合計	252,399	190,170
固定資産合計	1,514,332	1,263,061
繰延資産	3,043	1,217
資産合計	3,602,921	3,726,357

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	149,730	67,231
短期借入金	349,994	315,021
1年内返済予定の長期借入金	123,147	68,045
未払法人税等	6,591	28,192
返品調整引当金	2,305	2,467
賞与引当金	77,651	87,943
その他	266,462	159,939
流動負債合計	975,882	728,841
固定負債		
長期借入金	87,011	46,506
退職給付に係る負債	91,273	102,733
繰延税金負債	917	783
その他	8,031	—
固定負債合計	187,233	150,023
負債合計	1,163,115	878,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,024,122	1,055,797
資本剰余金	503,249	534,923
利益剰余金	867,258	1,235,905
自己株式	△1,786	△2,556
株主資本合計	2,392,843	2,824,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	861	627
その他の包括利益累計額合計	861	627
新株予約権	34,636	22,794
非支配株主持分	11,463	—
純資産合計	2,439,806	2,847,492
負債純資産合計	3,602,921	3,726,357

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,131,059	3,046,535
売上原価	2,180,398	1,785,042
売上総利益	950,661	1,261,492
返品調整引当金戻入額	3,149	2,305
返品調整引当金繰入額	9,267	2,467
差引売上総利益	944,543	1,261,329
販売費及び一般管理費	945,006	774,050
営業利益又は営業損失(△)	△463	487,279
営業外収益		
受取利息	297	152
受取配当金	347	535
業務受託料	600	-
還付加算金	486	-
その他	332	2,979
営業外収益合計	2,064	3,667
営業外費用		
支払利息	9,523	4,598
為替差損	3,100	23,402
持分法による投資損失	7,195	-
その他	5,432	5,752
営業外費用合計	25,252	33,753
経常利益又は経常損失(△)	△23,650	457,193
特別利益		
新株予約権戻入益	1,165	145
子会社株式売却益	36,109	-
特別利益合計	37,275	145
特別損失		
投資有価証券売却損	10,546	-
子会社株式売却損	-	6,495
投資有価証券評価損	-	6,766
事務所移転費用	18,695	-
その他	1,364	-
特別損失合計	30,606	13,261
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△16,981	444,077
法人税等	21,374	58,653
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△38,356	385,423
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,883	3,362
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△40,239	382,061

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△38,356	385,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△397	△233
その他の包括利益合計	△397	△233
四半期包括利益	△38,753	385,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△40,636	381,827
非支配株主に係る四半期包括利益	1,883	3,362

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイターサポ ート事業	コンテンツソ リューション 事業	UI/UX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	723,645	843,892	1,563,521	3,131,059	—	3,131,059
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	18,148	—	18,148	△18,148	—
計	723,645	862,040	1,563,521	3,149,207	△18,148	3,131,059
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	107,154	12,327	△152,673	△33,191	32,728	△463

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

平成27年6月15日付で株式会社エイチアイが、株式会社U'eyes Designの株式を売却したことにより、UI/UX事業においてのれんが100,622千円減少しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイターサポ ート事業	コンテンツソ リューション 事業	UI/UX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	839,278	765,533	1,444,155	3,048,968	△2,433	3,046,535
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	14,618	—	14,618	△14,618	—
計	839,278	780,151	1,444,155	3,063,586	△17,051	3,046,535
セグメント利益	133,356	39,128	296,006	468,491	18,788	487,279

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、社内業績管理区分の見直しを行った結果、アプリケーション事業とUI/UX事業を集約し、UI/UX事業として表示する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。